



船穂中つれづれ

令和7年度学校通信
令和7年7月11日
第13号



学校教育目標：変化していく社会に対応できる、心豊かな主体性のある生徒の育成を図る
令和7年度重点目標：主体的な学習「わかった」「できた」「やってみよう！」<授業改善>
自己肯定感の向上 「船穂大好き・人大好き」<探究学習>

船穂中HP



～校内弁論大会～

7月9日（水）校内弁論大会がありました。

船穂中学校の校内弁論大会のレベルはとても高いので毎年感心しています。授業で弁論を書くときは、国語科の先生方の指導の下、生徒一人一人が自分自身と真剣に向き合い、感じていること、考えていること、また悩み、喜びなどをまず文章で表現しています。中には放課後残って、また家に持ち帰って、考え抜いて原稿を書いた生徒が何人もいたと思います。その後できあがった原稿をもとに、学級弁論大会を行いました。そこで学級代表となり、その後学年代表となった10名の弁士たちが、当日堂々と弁論の発表をしました。

(発表順)

年組	弁士	演題
3B	小野 柚月	おじいちゃんが最後に教えてくれたこと
2A	萩原 里菜	プレゼント
1B	森分 董	今、生きている
2B	小野 琴葉	私の将来の夢
3B	為藤 咲絢	あなたを救うもの
1A	立花 梓葉	生きる意味
3A	小野 茜音	ライバルと
2A	尾崎 希音	平和
3A	塩尻 竜河	心が動いた瞬間
2B	山崎 凜子	部活を通して気づけたこと



10名の弁士たちは、自分の思いを自分の言葉で、しっかりと伝えることができました。ほとんど原稿を見ずに、身振り手振りを入れながら思いを伝えていました。弁士たちの弁論はどれもとても素晴らしい内容でした。また、聞いていた観衆の生徒たちの態度もとても立派でした。みんな真剣に弁論を聞き、発表の後には温かい拍手が贈られていました。

【弁論大会の感想】

今日の弁論大会の発表を聞いて、一人一人が心を込めて読んでいて、素敵だなと思いました。弁論の発表を聞く前と聞いた後では、自分自身の考えも変わりました。弁士の人たちは、聞き手の心を揺さぶったり、感動させたりしていてすごいなと思いました。(中略) 今日学んだことは、生きる意味や家族・友達のこと・平和についてです。自分と同じような経験をした人の発表や、自分の意見を堂々と話していた人、様々な内容があったけれど、どれも今日からの生活に生かしていきたいです。

僕は、弁士の皆さん全員がカッコいいな、という印象を持ちました。弁論は、全校生徒も頑張って原稿を書いて学級で発表しました。今日の弁士のみんなは、それ以上に努力をした人だと思います。自分が感じたことや思っていることを大勢の前で発表するのはとても緊張すると思います。それでも原稿を見ずに、前を向いて大きな声、聞き取りやすいスピードで発表していました。自分にできることは、頑張っている人に伝えるために真剣な態度で聞くことだと思い、本気で弁論を聞くことができました。弁士のみなさん、素晴らしい弁論をありがとうございました。